



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社フジミインコーポレーテッド

コード番号 5384 URL <https://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大橋 圭吾 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,111	8.9	5,939	32.9	5,932	29.7	4,485	34.6
2020年3月期第3四半期	28,574	△0.8	4,469	△0.6	4,572	△4.4	3,332	△8.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,543百万円 (37.5%) 2020年3月期第3四半期 3,303百万円 (△9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	181.44	-
2020年3月期第3四半期	135.08	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	62,140	54,196	87.2	2,192.31
2020年3月期	59,496	52,079	87.5	2,106.74

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 54,196百万円 2020年3月期 52,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	40.00	-	47.00	87.00
2021年3月期	-	50.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	6.7	7,350	22.3	7,350	19.0	5,500	28.8	222.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	28,699,500株	2020年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,978,431株	2020年3月期	3,979,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	24,720,790株	2020年3月期3Q	24,673,728株

（注）当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により各国で経済活動が停滞し、また、貿易摩擦に加え香港問題等により米中対立の懸念が高まる中、世界経済は不透明感が一層強まりました。一方、世界半導体市場は、上期においては、スマートフォン及び自動車の市場停滞の影響を受けたものの、データセンター向けの需要が高まったことに加え、新型コロナウイルスの影響を受け、在庫積み上げの動きがありました。第3四半期では、データセンター向けの需要に一服感が見られたものの、主に自動車向けの需要に回復の動きが見られました。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高31,111百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益5,939百万円(前年同期比32.9%増)、経常利益5,932百万円(前年同期比29.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,485百万円(前年同期比34.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハ向け製品の販売が増加したことにより、売上高は18,144百万円(前年同期比11.1%増)、セグメント利益(営業利益)は売上増加に加え製品構成の良化により5,555百万円(前年同期比36.0%増)となりました。

北米につきましては、売上高は4,241百万円(前年同期比1.3%減)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は製品構成の良化により387百万円(前年同期比67.0%増)となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことから、売上高は7,596百万円(前年同期比11.8%増)、セグメント利益(営業利益)は1,600百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

欧州につきましては、売上高は1,129百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益(営業利益)は為替の影響もあり124百万円(前年同期比22.3%減)となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハ向け製品につきましては、半導体業界の高い稼働に支えられ、ラッピング材の売上高は3,340百万円(前年同期比16.9%増)、一方、ポリシング材の売上高は前年同期間において一部顧客で当社製品の在庫積み増しがあったことから、前年同期並みの7,017百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

CMP向け製品につきましては、メモリ向けでは需要に一服感が見られたものの、ロジック向けの需要は引き続き好調に推移したことから、売上高は14,971百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、SSD(ソリッドステート・ドライブ)への置き換えによる市場の縮小及び顧客の生産プロセスの変更の影響により、売上高は1,410百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、売上高は2,716百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、2,644百万円増加し、62,140百万円となりました。これは、流動資産のその他が294百万円減少したものの、現金及び預金が1,538百万円、受取手形及び売掛金が1,293百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、527百万円増加し、7,944百万円となりました。これは、賞与引当金が609百万円減少したものの、流動負債のその他が685百万円、支払手形及び買掛金が299百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、2,117百万円増加し、54,196百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が86百万円減少したものの、利益剰余金が2,057百万円、その他有価証券評価差額金が125百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、最先端半導体デバイス向けCMP製品及びシリコンウェハ向け製品の販売が増加したことから、売上高及び利益が予想を上回る結果となりました。最近の業績動向を踏まえ、2020年11月4日に公表した2021年3月期通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,769	25,307
受取手形及び売掛金	8,228	9,522
有価証券	1,499	1,900
商品及び製品	3,695	3,819
仕掛品	988	1,003
原材料及び貯蔵品	2,610	2,489
その他	503	208
貸倒引当金	△18	△20
流動資産合計	41,279	44,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,788	6,559
その他(純額)	7,144	7,115
有形固定資産合計	13,933	13,674
無形固定資産		
無形固定資産	437	379
投資その他の資産		
投資有価証券	2,939	3,118
繰延税金資産	787	630
その他	129	115
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,846	3,855
固定資産合計	18,217	17,909
資産合計	59,496	62,140

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,499	2,799
未払法人税等	767	599
賞与引当金	1,242	633
役員賞与引当金	—	80
その他	1,886	2,571
流動負債合計	6,395	6,684
固定負債		
繰延税金負債	0	—
退職給付に係る負債	752	773
株式給付引当金	157	329
その他	110	157
固定負債合計	1,021	1,260
負債合計	7,416	7,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	5,570
利益剰余金	47,124	49,181
自己株式	△5,449	△5,448
株主資本合計	51,998	54,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	219
為替換算調整勘定	30	△56
退職給付に係る調整累計額	△44	△24
その他の包括利益累計額合計	80	138
純資産合計	52,079	54,196
負債純資産合計	59,496	62,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	28,574	31,111
売上原価	16,174	16,847
売上総利益	12,400	14,263
販売費及び一般管理費	7,930	8,323
営業利益	4,469	5,939
営業外収益		
受取利息	89	56
受取保険金	1	47
その他	76	86
営業外収益合計	166	190
営業外費用		
為替差損	50	179
その他	12	18
営業外費用合計	63	197
経常利益	4,572	5,932
税金等調整前四半期純利益	4,572	5,932
法人税、住民税及び事業税	998	1,355
法人税等調整額	241	91
法人税等合計	1,239	1,446
四半期純利益	3,332	4,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,332	4,485

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,332	4,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	125
為替換算調整勘定	△149	△86
退職給付に係る調整額	21	19
その他の包括利益合計	△29	58
四半期包括利益	3,303	4,543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,303	4,543

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	16,327	4,299	6,791	1,156	28,574	—	28,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,060	678	175	—	5,915	△5,915	—
計	21,387	4,977	6,967	1,156	34,489	△5,915	28,574
セグメント利益	4,085	232	1,343	159	5,821	△1,352	4,469

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,352百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,379百万円及び棚卸資産の調整額26百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	18,144	4,241	7,596	1,129	31,111	—	31,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,907	803	176	—	6,888	△6,888	—
計	24,052	5,044	7,772	1,129	37,999	△6,888	31,111
セグメント利益	5,555	387	1,600	124	7,667	△1,728	5,939

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,728百万円は、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,529百万円及び棚卸資産の調整額△203百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。